

# 職員の多様な働き方の推進について

DX戦略本部事務局

## I 概要

- 多様化する県民ニーズ等に対応し、行政サービスの利便性を維持・向上していくためには、デジタル技術を最大限に活用し、業務の見直しや効率化を進める必要がある。
- 業務のニーズに合わせて迅速かつ柔軟に対応できるクラウドサービスの利用、電子決裁の導入、ペーパーレス等のデジタル化により、業務の効率化や経費削減を図るとともに、場所や時間の制約を受けないモバイルワークの環境を整備し、多様な働き方を推進する。

## 2 現状・課題

### 働き方や社会情勢の変化

- 業務の効率化や経費削減等の観点から業務資料等のペーパーレス化を進める必要がある。
- 職員の働き方の多様化に対応するため、場所を問わず業務ができるテレワークやWeb会議等が一般的になっている。
- サイバー攻撃による情報漏洩やシステム停止のリスクが増している。

### 執務環境の課題

- 打ち合わせや会議の資料が紙媒体で共有されることが多い。
- 自席でなければ業務ができない。
- 職員が所属や勤務する場所に固定されており、フリーアドレス等の柔軟な職員配置・組織運営ができない。
- 外部からの電話に対し、庁内にいなければ対応できない。
- テレワークやモバイルワークに対応するための事務処理の電子化が不足している。

### 多様な働き方に対応した環境の整備

#### ペーパーレス化

紙を中心の業務形態を電子決裁の導入やモバイル端末の活用により、作業の効率化、コスト削減を図る。

#### モバイルワーク

どこでも業務が可能な環境を整備する

#### 業務改善の継続

庁内業務の課題を分析し、デジタル技術を活用した効率化を図る。

## 3 令和6年度の取組

### <ペーパーレス化>

#### ○新財務会計システムの構築

- ・財務会計システムと予算編成システム等の統合
- ・電子決裁機能や審査チェック機能の追加等
- ・構築事業者の選定  
(5月:公告、7月:企画提案協議・決定)
- ・基本設計、詳細設計、データ移行(令和6~8年度)
- ・利用開始(令和9年1月予定)

### <モバイルワーク>

#### ○テレワークの本格実施(4月~)

#### ○行政事務用PCの入れ替え(7~8月)

- ・ノート型PC:4,570台／Microsoft365／顔認証の導入

#### ○無線LANの整備(7~8月頃から順次導入)

### <業務改善の継続>

#### ○7年度以降の調達方針決定に向けた

#### コラボレーションツールの実証実験(6~9月)

- ・各部局主管課、地域振興局地域企画課等

- ・部局横断プロジェクトや民間との協働等への活用

#### 【コラボレーションツール】

Web会議やクラウド電話など業務効率化につながる機能を有するツール

## 職員の多様な働き方のイメージ(例)

これまでこれから

場所を移動して柔軟に業務ができる(フリーアドレス)  
⇒無線LANの整備、行政事務用ノートPCの導入

クラウド上のデータを複数の職員が同時に編集  
⇒コラボレーションツールの実証

庁内

クラウド

自宅

資料を印刷せずに端末上で共有  
⇒行政事務用ノートPCの導入、新財務会計システムの構築

データをクラウドに置き  
どこからでも利用

自宅や外出先からでも庁内にいるのと変わりなく業務ができる  
⇒テレワークの本格実施